

2022 年 9 月

SoC1324

Effects of Population Aging

By Susan Leiby (Send us [feedback](#))

人口高齢化の影響

人口の高齢化は、グローバル社会を変貌させつつある基本的な力である。世界人口が全体的に高齢化している現状は過去に例のないものであり、経済成長や地政学的状況、統治、家族構造、教育、労働力、テクノロジー、医療、消費者需要などの行く末に影響するものと予測される。この人口動態上の変化は、気候変動など、それ以外の大きな課題とも複雑に絡み合う。政府および社会が人口高齢化にどう向き合うかが、あらゆる業界でビジネス環境に影響する。

国連の最新の試算によると、平均余命の伸びを主因として世界人口は今後も増え続け、2022 年後半の 80 億人から 2050 年には 97 億人まで増加する見通しである。現在、世界人口の 3 分の 2 が、女性の生涯出生児数 2.1 未満（人口増加率ほぼゼロに相当）の地域に住んでおり、総人口増加率は 1950 年以来、最低の水準となる年 1%未満に落ち込んでいる。国連の予測によると、65 歳以上の人は現在の 7 億 7,100 万人（全人口の 10%）から 2050 年には 16 億人（同 16%）に増える見通しであり、この数字は 5 歳未満の子供の予測数の 2 倍以上となる。最も高齢化しているヨーロッパと北米では、今後さらに高齢化が進むだろう。ラテンアメリカと東アジアおよび東南アジアでは、65 歳以上の人が占める割合が数十年後には 2 倍になると予測されている。年齢構成が最も若いサハラ砂漠以南のアフリカでも、高齢者の比率が増える見通しである。

人口の高齢化による影響は、地域によってかなり違ったものになる。高齢化と同時に、人口の減少が見込まれている国もある。世界で最も平均年齢（49 歳）が高い日本では、出生率の低さにより、2010 年以来、

人口が徐々に減少している。この展開はある種の社会問題を引き起こすが、潜在的に良い面もある。たとえば、高齢者のニーズを満たす商品やサービスを企業が提供する機会などである。人口高齢化のプロセスは先進国ではゆっくりと展開するが、開発途上地域ではそれよりはるかに速いペースで進んでいる。たとえば中国では、政府が 1980 年から 2015 年まで実施した一人っ子政策が原因で急激な高齢化が起っており、出生数は過去最低を記録している。一部のアナリストによると、中国の人口は今後約 6 年で減少に

転じるという。成長が続いているインドでは、2023 年には中国を抜いて世界最多の人口を擁する国となる見通しである。この順位の入れ替えは、アジアにおける力学の変化を招き、中国市場よりもインドの成長市場に焦点を移す企業が増える可能性がある。サハラ砂漠以南のアフリカ、アジア、およびラテンアメリカの一部は、出生率の低下とともに労働年齢人口（25 歳から 64 歳までの人々）の比率が増える結果、経済的な配当を得る可能性がある。これらの国々がこの機会を最大限に活かすには、教育、医療、経済開発への投資が必要である。

人口高齢化は以下の例から読み取れるように、さまざまな社会的・商業的課題だけでなく、広範囲に渡って機会をもたらすことも予測される。

・ 管理支援制度

子供の数が少なく長生きする人が増える結果、社会保障、年金、医療、長期介護といった制度にかかる負担が重くなる。高齢者（若年層より投票率が高い傾向がある）は、こうした制度の持続可能性を確保する

政府および社会が人口高齢化にどう向き合うかが、あらゆる業界でビジネス環境に影響する。

ための財政支出に、影響力を発揮しうる有権者集団として拡大を続けるだろう。

・ 労働人口構成と退職のパターン

労働人口は多くの国で着実に老いている。人数の多いベビーブーム世代が、毎日のように退職年齢に達している。労働者が引退すると、労働人口に空きが生じて人材不足になるため、若い労働者を補充しなければならないが、引退する労働者の数は若い労働者の数を上回っている。韓国、日本、ドイツのような高齢化国では、工業労働力の不足をロボットなどの自動化技術で補いつつある。自ら進んで、あるいは経済的な必要性から、引退を遅らせる(さらには、引退しない)人が今後は増えていく可能性がある。米国では2020年、Covid-19パンデミックの影響で多くの高齢者が職を辞したが、現在のデータからは労働人口に復帰する人が増えていることが読み取れる。同様に、今の英国では50歳以上で働いているか職を探している人が、パンデミック直前の時期と比べて増えており、この増加分の半分以上が65歳以上の男性である。

・ 医療と自動化技術

これから数十年、高齢化の課題に対応する技術の開発が非常に大きなチャンスとなる。科学の進歩は、病気の予防、治療の提供、細胞組織の修復・再生などの新しい方法を提供することで、高まる高齢者医療への需要に応えられるようになるだろう。新しいアンチエイジング技術の開発が進められ、学術機関、行政機関、民間投資家の多大な関心を集めている。高齢者介護は自動化するのが非常に難しいが、ロボットの発達により、ある程度の補助手段が介護労働にもたらされる見通しである。デジタル技術と自律走行車技術も、高齢化のさまざまな問題を解決する可能性がある。

・ 環境ストレス

余命の伸びに伴う人口増加によって、天然資源と生態系に加わる負担が増し、貧困の削減や食糧と水の安全保障に取り組む世界の対応能力に悪影響が及ぼされる。それと同時に、猛暑や洪水など、悪化し

つある気候影響が、高齢者や低所得者にとっては特に大きな痛手となる可能性がある。

これから数十年、多くの人が健康に長生きすると予測されるが、持病や障害を抱えていたり、経済的な支援が不足している高齢者の増加には、ほとんどの国の政府が対応に苦慮することになるだろう。しかし未来は不確実であり、もっと良い(または悪い)結果につながる展開も考えられる。以下の通り、人口高齢化による影響を変化させる可能性のある要因の例を紹介する。

◆ 社会的混乱

高齢者の生活の質向上のための財政支出に偏り過ぎていと若年層が認識すれば、そうした人々から反発が起こる可能性がある。政治指導者は常に、あらゆる社会問題に対する解決策の発見に積極的に取り組む必要がある。

◆ アンチエイジング技術のブレイクスルー

加齢の影響を逆転させる技術の飛躍的な進歩により、従来の常識をはるかに超えて長く健康な余生を送る人々が現れる可能性がある。アンチエイジング技術によって2型糖尿病、心臓疾患、アルツハイマー病などの慢性病の発生率を抑えられる可能性があるが、行政側はこうした技術の公平な利用を保証する必要がある。

◆ 生涯にわたる教育と労働

長生きする人の多くは、学習と仕事を続けたい、続けるべきだと考えるだろう。企業は高齢者が生産性を発揮しながら働き続けることができるよう、教育、訓練、柔軟な業務慣行、健康増進策を強化する必要がある。若年人口が減少していく状況では、大学はあらゆる世代が学習できる機関への変革を行い、若者と高齢者の両方の才能が社会問題への取り組みに活かされるようにする必要がある。

SoC1324

本トピックスに関連する Signals of Change

- SoC1286 [アンチエイジング技術](#)
- SoC1245 [中国の先進国問題](#)
- SoC1146 [東アジアにおける高齢化:課題と市場](#)

関連する Patterns

- P1673 [人口高齢化という問題](#)
- P1449 [世代間の経済状態](#)
- P1426 [人口増加時代の新たな食物](#)